

日体大卒業生 健康寿命延伸プロジェクトスタート!

日体維新

卒業生の健康長寿を支える
取り組みが始まります

詳しくはP20,21へ



Nittai Healthy Longevity Study

寄付金のお願い

学校法人日本体育大学は「体育」を通じて世界に貢献します。

ご支援をお考えの皆様へ

学校法人日本体育大学は1891年(明治24年)に創設以来、建学の理念である「體育富強之基」に則り、知育、徳育を育み、健康を増進し、日本・世界の平和と発展に貢献する学生・生徒を育成することを旨として取り組んでまいりました。

現在、本法人は日本体育大学、日本体育大学荏原高等学校、日本体育大学桜華高等学校、日本体育大学柏高等学校、浜松日体高等学校、日本体育大学附属高等支援学校、日本体育大学桜華中学校、浜松日体中学校、日体幼稚園、日本体育大学医療専門学校を設置し、学生・生徒数は約1万人を擁するまでにになりました。

当法人および各設置校へのご支援いただいた寄付金は、本法人事業として、スポーツ選手強化・指導者育成や国際交流によるグローバルリーダー育成、教育研究環境の充実・発展や学生・生徒への奨学金などを目的とし、その成果を通じ、広く社会に貢献還元致します。

皆様からのご支援、ご協力が大きな支えとなりますので、是非ご賛同いただき、多くの方々のご寄付をお願い申し上げます。

寄付金お申込み方法

寄付金の詳細は、下記に記載のWebサイトをご覧ください。Webサイトでは、手続きに便利な「お申込みフォーム」を提供しています。ぜひご利用ください。

Webサイトへは下記のURLからアクセス可能です。その他ご不明な点は「寄付金各種お問い合わせ」までご連絡ください。

※各設置校で個別に実施している寄付金事業については、各学校へお問い合わせください。



<https://www.gaku-nittai.ac.jp/donation.html>

ご寄付に対する税制上の優遇措置

当法人に対するご寄付は、税制上の寄付金控除の措置を受けることができます。必要となる書類は、寄付金の入金が確認でき次第、ご送付させていただきます。

寄付金 各種お問い合わせ

学校法人 日本体育大学 法人事務局 総務部 経理課
〒158-0081 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学 東京・世田谷キャンパス内
TEL : 03-3704-5201 FAX : 03-3704-3336
E-mail : kifu@gaku-nittai.ac.jp



「日體人」を揮毫させていただき光栄にあずかった。日体大は、体育・スポーツの指導者、研究者を育成する日本を代表する単科大学として歴史を積み重ねてきた。そのキャンパスで学んだ同窓は、エッサッサ、荏原体育を無心で演じてきた同志である。理不尽さに耐えつつ、常に夢を描き、犠牲的精神を発揮する習性を身につけた異色な人類。それが「日體人」だと私は実感している。この人類は、同窓の絆を財産以上に大切にしている習性をも身にまとう。われらの誇りである。日体大は小さいかもしれぬが、その存在感は計れぬほど大きい。

(2012年11月創刊号より抜粋)

【題字】学校法人日本体育大学
理事長 松浪健四郎

日本体育大学同窓会誌

vol.
10

日體人



日體人
NITTAIJIN
2021 Winter Vol. 10

日本体育大学同窓会誌【日體人】VOL.10 2022年2月10日発行 発行・編集/日本体育大学同窓会
TEL : 03-3704-0266 FAX : 03-3704-1817 URL : <https://www.nittai-club.com/> 制作協力/株式会社グイアックス

東京2020オリンピック・パラリンピック	2	石井 隆憲	9
北京2022冬季オリンピック・パラリンピック	5	大学運営の現状と課題	9
塩谷 和雄	6	学部・学科紹介	10
創刊から10年～母校の進化と同窓会～	6	第58回 体育研究発表実演会	14
松浪 健四郎	7	同窓会誌発行協力金について	17
日体大の今日と明日	7	日体大卒業生健康寿命延伸プロジェクト	20
今村 裕	8		
大学の組織力と教育力の確立と向上を目指して	8		

東京2020オリンピック・パラリンピック



第32回オリンピック競技大会(2020/東京)は、令和3年7月23日(金)～8月8日(日)まで、206の国と地域が参加し、33競技339種目で開催されました。

東京2020パラリンピック競技大会は、令和3年8月24日(火)～9月5日(日)まで、162の選手団が参加し、22競技539種目で開催されました。

同大会の実現に関しては、皆様もご承知の通り、1年の延期、その後は開催の賛否・無観客となるなど、多難な道程でした。コロナ禍での制約ある環境の中でも最大限の努力を続けたアスリート、安全な大会運営に尽力された方々、そして医療関係の方々にも心より敬意を表します。

日体大関係者の代表選出は、オリンピック59名、パラリンピック10名と過去最大となり、メダル獲得数は、オリンピックとパラリンピックを合わせて16(金4・銀7・銅5)で、日本選手団の中で存在感を示すことができました。

2年後のパリオリンピック・パラリンピックでも、日体ファミリーとして応援をいただきたく、お願い申し上げます。

TOKYO 2020

日体大関係者
メダリスト11名



東京2020 オリンピック・パラリンピック 日体大関係者 メダリスト・入賞者・出場選手

オリンピック		※五十音順(競技名)	
競技	氏名	所属	種目・結果
アーチェリー	河田 悠希	株式会社エディオン	リカーブ 男子団体:●銅メダル 男子個人
アーチェリー	早川 漣	株式会社アンソールソリューション	リカーブ 女子個人、女子団体:5位
アーチェリー	中村 美樹	株式会社ハードオフコーポレーション	リカーブ 女子個人、女子団体:5位
ウエイトリフティング	山本 俊樹	ALSOK	96kg級
カヌー	久保田 愛夏	(公財)ぎふ瑞穂スポーツガーデン	スプリント女子カナディアンシングル200m、スプリント女子カナディアンペア500m
サッカー	池田 咲紀子	三菱重工浦和レッズレディース	サッカー女子:8位
サッカー	三浦 成美	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	サッカー女子:8位
自転車競技	中村 紀智	株式会社 JPF	トラック女子マディソン
自転車競技	畠山 紗英	日本体育大学(体育学部4年)	BMX レーシング
柔道	阿部 詩	日本体育大学(スポーツ文化学部3年)	女子52kg級:●金メダル 混合団体:●銀メダル
柔道	阿部 一二三	パーク24株式会社	男子66kg級:●金メダル 混合団体:●銀メダル
新体操	杉本 早裕吏	トヨタ自動車株式会社	団体:8位
新体操	鈴木 歩佳	日本体育大学(体育学部4年)	団体:8位
水泳	南出 大伸	株式会社木下グループ	マラソンスイミング
水泳	坂井 丞	ミキハウス	男子3mシンクロ飛板飛込:5位
水泳	三上 紗也可	日本体育大学(体育学部2年)	女子3m飛板飛込
水泳	五十嵐 千尋	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ/JSS	競泳:4x100mメドレーリレー:8位、400mリレー、800mリレー
水泳	武良 竜也	ミキハウス	競泳:200m平泳ぎ:7位、100m平泳ぎ、4x100mメドレーリレー:6位
水泳	足立 聖弥	株式会社イカイ・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	コップ 晴紀 イラリオ	株式会社電算システム・DSKドラゴンズ	水球(男子)
水泳	志賀 光明	株式会社登利平・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	吉田 拓馬	東京ガスクリエティブ株式会社・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	鈴木 透生	日本体育大学(体育学部4年)	水球(男子)
水泳	高田 充	株式会社イカイ・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	荒井 陸	Kingfisher74	水球(男子)
水泳	大川 慶悟	秀明大学・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	荒木 健太	株式会社CNCグループ・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	福島 丈貴	東京ガスライフバル保谷株式会社・Kingfisher74	水球(男子)
水泳	三浦 里佳子	白鷺女子高等学校・日体クラブ	水球(女子)
水泳	新澤 由貴	株式会社イカイ・日体クラブ	水球(女子)
水泳	橋田 舞子	日本体育大学(体育学部3年)	水球(女子)
水泳	河口 華子	日本体育大学(体育学部4年)	水球(女子)
水泳	工藤 恭子	日本体育大学(スポーツマネジメント学部3年)	水球(女子)
セーリング	山崎 アンナ	日本体育大学(体育学部4年) 株式会社ノビア	49erFX 級女子
体操競技	村上 茉愛	日体クラブ	女子 種目別ゆか:●銅メダル、女子団体:5位、女子個人総合:5位
体操競技	内村 航平	ジョイカル	男子種目別:鉄棒
トライアスロン	岸本 新菜	(公財)福井県スポーツ協会	個人女子、混合リレー
トライアスロン	小田倉 真	三井住友海上	個人男子、混合リレー
バドミントン	遠藤 大由	日本ユニシス株式会社	男子ダブルス:5位
バレーボール	高橋 藍	日本体育大学(体育学部2年)	バレーボール男子:7位
バレーボール	高梨 健太	TG SPORTS株式会社	バレーボール男子:7位
バレーボール	山本 智大	株式会社ブレイザーズ・スポーツクラブ	バレーボール男子:7位
バレーボール	小幡 真子	日本たばこ産業株式会社	バレーボール女子
ハンドボール	原 希美	株式会社ホンダロジスティクス	ハンドボール女子
ハンドボール	池原 綾香	Odense Handbold (デンマーク)	ハンドボール女子
ハンドボール	土井 レミイ杏利	ジークスター東京	ハンドボール男子
ハンドボール	元本 博紀	大崎電気工業株式会社	ハンドボール男子
フェンシング	佐藤 希望	株式会社大垣共立銀行	女子エペ個人
フェンシング	東 晟良	日本体育大学(体育学部4年)	女子フルール個人、団体:6位
フェンシング	東 莉央	明治安田生命保険相互会社	女子フルール個人、団体:6位
フェンシング	徳南 堅太	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	男子サーブル団体
ボクシング	入江 聖奈	日本体育大学(体育学部3年)	女子フェザー級:●金メダル
ラグビー	清水 麻有	日本体育大学大学院	ラグビーフットボール女子
ラグビー	堤 ほの花	株式会社ディックソリューションエンジニアリング	ラグビーフットボール女子
ラグビー	永田 花菜	日本体育大学(体育学部3年)	ラグビーフットボール女子
ラグビー	平野 優芽	日本体育大学(体育学部4年)	ラグビーフットボール女子
ラグビー	松田 凜日	日本体育大学(体育学部2年)	ラグビーフットボール女子
レスリング	文田 健一郎	ミキハウス	男子グレコローマンスタイル60kg:●銀メダル
レスリング	屋比久 翔平	ALSOK	男子グレコローマンスタイル77kg:●銅メダル

パラリンピック			
競技	氏名	所属	種目・結果
車いすバスケット	赤石 竜我	日本体育大学(児童スポーツ教育学部3年)/埼玉ライオンズ	●銀メダル
車いすバスケット	高松 義伸	日本体育大学(体育学部4年)/栃木レイカーズ	●銀メダル
水泳	富田 宇宙	日本体育大学大学院/EY Japan	400m自由形(視覚障害S11):●銀メダル、男子100mバタフライ(視覚障害S11):●銀メダル、男子200m個人メドレー(視覚障害S11):●銅メダル、混合4x100m49ポイントフリーリレー(視覚障害S11):5位
水泳	窪田 幸太	日本体育大学(体育学部4年)	100m背泳ぎ(運動機能障害S8):5位、100m自由形(運動機能障害S8)、男子4x100m34ポイントメドレーリレー(運動機能障害S8):8位
卓球	友野 有理	日本体育大学(スポーツ文化学部3年)	パラ卓球女子シングルス(運動機能障害クラス8):8位、女子団体C6-8
馬術	吉越 奏詞	日本体育大学(児童スポーツ教育学部3年)/アスール乗馬クラブ	G II
バドミントン	梶原 大暉	日本体育大学(児童スポーツ教育学部2年)	男子シングルス(運動機能障害WH2):●金メダル、男子ダブルス(運動機能障害WH2):●銅メダル
バドミントン	今井 大湧	ダイハツ工業株式会社	男子シングルスSU5:5位
陸上競技	兎澤 朋美	富士通株式会社	女子走り幅跳びT63:4位、女子100mT63:8位
陸上競技	辻 沙絵	日本体育大学助教C	女子400mT47:5位、女子200mT47、ユニバーサルリレー
陸上競技	宮崎 勇将	東日本旅客鉄道株式会社	競技バートナー

北京2022冬季オリンピック・パラリンピック

第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)は、
令和4年2月4日(金)～2月20日(日)まで、7競技109種目で開催を予定しています。

北京2022パラリンピック冬季競技大会は、
令和4年3月4日(金)～3月13日(日)まで、6競技78種目で開催を予定しています。

日体大関係者の代表選出は、オリンピック5名、パラリンピック3名です。
日体ファミリーとして応援をいただきたく、お願い申し上げます。

オリンピック

スピードスケート	500m、1000m、1500m、3000m、TP	高木 美帆
スキージャンプ	スキージャンプ女子(個人ノーマルヒル)	高梨 沙羅
アルペンスキー		小山 陽平
スノーボード	ハーフパイプ	戸塚 優斗
スノーボード	スロープスタイル	飛田 流輝

パラリンピック

アルペンスキー		高橋 幸平
アルペンスキー		本堂 杏実
アルペンスキー		小池 岳太





創刊から10年 ～母校の進化と同窓会～

日本体育大学同窓会
会長 塩谷 和雄

日ごろ本会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

発行にあたり、ご多忙にもかかわらず、松浪健四郎理事長、今村裕常務理事、石井隆憲学長よりご寄稿を賜り、厚く御礼申し上げます。また、従前の会議開催がままならない中、理事長・学長にはビデオメッセージやDVDの提供、オンライン参加等のご配慮もいただき、紙面をお借りして感謝申し上げます次第です。

さて、皆様のお力添えにより、本誌も第10号の節目を迎えることができました。感謝の気持ちを込め、平成24年度の創刊号に触れながら、急速な発展を遂げている母校と同窓会の歩みを振り返ってみたいと思います。

産声を上げた題字「日體人」は、前年に就任された松浪理事長の揮毫によるもの（別記参考1）。特集は、谷釜学長、日比野保護者会長、碓井同窓会長を加えた首脳四者による「巻頭座談会」。ワンファミリー化を象徴する語り合いでしたが、キーワードとしてたびたび出てくるのが「世界一の体育大学」です。すでに、英語表記は平成8年に「NSSU」に改称（別記参考2）。世に先駆けて獅子吼する日体大の近未来像が標榜され、体育学部が続いて、児童スポーツ教育学部、保健医療学部、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部の創設へと、間断なく改革の手が打たれ、今もその途上にあります。

一方、同窓会は平成26年度に瀧澤康二会長へとタスキが渡り、「黎明」第1ステージが幕を開けました。詳細は前号にてご紹介しましたが、これを継承した第3ステージも早や2年目を過ぎようとしています。今

和3年度は、役員会と代議員懇談にWeb会議システムを導入。ブロック会議においても、九州（6/12）が先陣を切り、東北（10/23）、北海道（12/11）、関東（12/18）、近畿（2/23予定）、中国・四国（2/26予定）へとオンライン化が進められています。「第58回体育研究発表実演会」が2年ぶりに開催されましたが、これに先立って、東京オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍したメダリストに対し、同窓会より「スポーツ奨励金」を授与させていただきました。

母校はいま、コロナ禍における入学者の募集・確保をはじめ、学生の就学動向への対応、学部学科の再編等々、幾多の教育課題に直面しています。喫緊のテーマは、横浜・健志台キャンパスの再開発をはじめとする将来構想の具現化と理解しており、極めて重要な局面を迎えています。

強い日体大・世界一の日体大へと「脱皮」の正念場を迎えている母校—我ら「日體人」は「母校発展への寄与」を命題とし、今こそ団結和協の精神で、進化し続ける大学と後輩たちを、力の限り支え続けていこうではありませんか。

*参考1：本紙の裏表紙に一部抜粋
*参考2：旧表記「NPEC」は
Nippon Physical Education College の略。
「NCPE」 Nippon College of Physical Education も当時使われていた。
現表記「NSSU」はNippon Sport Science University の略。

日体大の今日と明日

学校法人日本体育大学
理事長 松浪 健四郎



東京2020オリンピック・パラリンピックは、開催中止を求める声もあったが、大成功のうちに幕を閉じた。日体大勢はオリンピックに59名、パラリンピックに10名の選手を輩出し、存在感を示すことができたうえに、現役学生等の活躍が旋風を巻き起こしてくれた。

「平和の祭典」で日体大関係者が躍動してくれたことにより、ブランド力がさらに高まった。130周年の記念すべき年に、創立者や継承者たちの御恩に報いることができたと信じるが、各地で指導者として地道な努力を積み重ねてこられた卒業生諸氏諸兄の皆さんのお力添えの賜物である。脈々と伝統が息づき、日体魂を世に謳うことができたことを誇りに思う。

大学は5学部、大学院は3研究科を擁する「身体にまつわる文化と科学の総合大学」へと発展し、約7,400名の学ぶ学園となっている。中規模大学としては有力校で、やがて大規模大学への仲間入りができる状況下にあるのか。体育・スポーツ系の大学としては世界最大であり、研究実績、教育実績ともに充実している。とりわけ、学問の府としての体制は、図書館や各研究所（体育、オリンピック文化、スポーツ危機管理）の整備と研究力は評価を得ていて、外部からの研究者たちにも活用されている。

社会は国際化され、外国との交流が日常のものとなり、日体大生もJICA（国際協力機構）の青年海外協力隊員となって発展途上国で体育や各スポーツの普及・振興に活躍中である。派遣隊員数で日体大がトップに立ち、国際貢献を夢見る学生たちも増加してきた。帰国隊員たちには、教職を希望すれば一次の学科試験を

免除する都道府県も増え、教員の国際化も進む。学内には国際交流センターが設置されていて、留学の世話も熱心に行う。

時代の先取りが求められ、横浜・健志台キャンパスの再開発を2年後から開始するにあたり、十分に考慮したいと考えている。人生100年時代を見据え、医療系の新たな学問領域の学科や学部の増設も視野に入れて研究中である。また、国際化の進展に伴って社会が変容しつつあるが、その変化に対応できる強い人材づくりのために社会科学系のセクションも求められる時代に突入している。安全な社会、安心して暮らせる社会構築のためにも役立ちたいとも考慮中である。国際化の波に乗る必要性を痛感する。

日体大は、多くの卒業生に支えられ今日を迎えている。ご期待に添えるように、私どもも最大の努力を払う覚悟である。一流の大学にしたい、誇れる大学にしたい、その決意でいる。



大学の組織力と 教育力の確立と向上を 目指して

学校法人日本体育大学
常務理事 今村 裕

1学部が5学部。常に18歳人口を念頭におき、大学の将来構想を立案してきた。

今春、入学者が定員割れした4年制私立大学は、全体の46.4%、277校であった。

母校、日本体育大学も一部の学部学科で定員割れが生じた。初めてのことであった。

コロナ対策で教育界にとっても未だ経験のない事柄に対処し約2年が経過した。やっと感染収束の目処も立ちつつあるようだが、最近心配なことは、コロナ禍でなくても、若者が内に籠もりすぎていることである。海外留学も減ってきている。わざわざ海外に行かなくてもインターネットで表面的にそれぞれの国の情報を知ることができる。しかし、実はその情報の裏にある歴史、文化、宗教、感性、これらを肌で感じる事が大事なことである。

こういった時期に日体大に入学してくる学生が、何を望んでくるのか。教育、研究内容、さらにその先にある最終目標の達成のため、組織をあげて、その向上と確立に努めなければならない。そして、それは全てサービス業であるという視点で向き合わなければならない。

横浜・健志台キャンパス再開発に関しては、令和元年12月、横浜市に都市計画提案書を提出し、令和3年8月、その計画の告示がおりた。この告示により、同キャンパスが市街化調整区域から市街化区域に編入され、無指定から第1種及び第2種中高層住居専用地域に編入、建築物の高さ制限も20mから40mに制限

緩和されることとなり、本学の将来構想に画期的な変化をもたらすこととなった。

学校法人日本体育大学の経営は、日本私立学校振興事業団において、「Aランク」に位置付けられている。法人、大学の中・長期計画において、自然と調和した、安全・安心で市民の健康づくりに寄与する持続可能な町づくりをコンセプトにした将来構想の具体的検討に入った。日体大が今後、さらに50年100年永続して発展することのできるよう、その構想の実現に向けて鋭意努力していきたい。

そのためには、全教職員が大学にかかわる全ての課題の解消に努めるとともに、日体大の強みを生かし、日体大でないと出来ない課題にアプローチを重ねていきたい。

先人が今日まで築き上げてきた日体大の歴史と伝統の引き継ぎ、次代を担う若者たちの未来に責任を持つ大学として確固たる地位を築くため、全力投球することをお約束したい。

大学運営の現状と課題

日本体育大学
学長 石井 隆憲



2021年4月1日より学長を拝命しました石井隆憲と申します。よろしくお願いいたします。

大学運営の現状と課題というテーマの中で、私が学長に就任してからの取り組みの一部をご紹介します。本学は今年度で創立130年を迎えました。また、新制大学として産声を上げてから72年が経過しています。現在、本学は5学部9学科、3研究科を擁する7,400人を抱える規模の大学となったことをお伝えしておきます。

さて、コロナ禍による大学への影響は、私が学長に就任する以前からのものですが、就任後は職域接種の話が出てきましたので、学生並びに教職員、また地域の方々への安心安全を担保すべく、全国の大学に先駆けて2021年6月21日より開始いたしました。これによって、約7割弱の学生が早々にワクチン接種をすることができました。

授業においては、4月から5月にかけて学生の動線の調査をおこない、健志台の学食での食事の時間が最も密になることがわかりましたので、前期中は講義以外の実技、実験、実習など、身体的な経験値を必要とする授業については、学籍番号末尾の偶数と奇数で大学への登校をコントロールしながら対面授業を実施しました。また、講義科目については、オンデマンドやオンラインによるリモート授業を行ってきました。後期になると、最初の授業はリモートでしたが、途中からは全ての授業において対面が可能なものについては、対面授業を実施するようにしました。来年度は、このような分析状況を踏まえて、お昼休みに学生が集中し

ないように授業時間を変則的に設定して対面授業を実施する予定であります。

東京オリンピック・パラリンピックへの日体大関係者の出場者については、オリンピックが59名、パラリンピックへは10名の選手が出場しました。この数は、日本選手団の約10分の1に当たります。メダルの獲得については、オリンピックでの金3、銀3、銅3であり、現役の学生2名が金メダルを獲得しました。また、パラリンピックにおいては、金1、銀4、銅2となり、メダルを獲得した4名すべてが、現役の学生(大学院を含みます)でした。パラリンピックにおいて成果を出すことができた一因は、2017年から日本財団が10億円規模の「日本財団パラアスリート奨学制度」を本学へ設置し、東京パラリンピックを見据えてパラアスリートへの支援を行ってきたことが大きかったといえます。また、この制度は次のパリのパラリンピックまで続く予定です。

この原稿の校正時点では、オミクロン株が猛威を振るっており、大学の運営にも徐々にダメージを与えつつあります。この文章が皆さんの手に届く頃には、第6波もピークアウトを迎えているのではないかと思います。しかしながら、感染症対策はこれから数年間、継続して対応していかなければならない課題となりそうです。

北京オリンピックが開催されているところですが、本学関係者が活躍し、多くの人々に勇気と希望と元気を与えてくれることを祈念しています。

学部・学科紹介



幅広い学びの領域で一人ひとりの向上心に応える。

あなたの夢や希望、目的に合わせて、興味のある学科や領域を
チェックしてみてください。

体育学部

健康で豊かな社会の実現と、スポーツ・体育の発展に貢献する。

体育学科

青少年の健全な育成やスポーツの技術力向上に必要な能力を身に付ける。

体育学科では、「スポーツ教育」と「競技スポーツ」に関する学修領域を設け、スポーツ情報、医・科学に関する知識のほか、コンディショニング管理やスポーツ傷害予防に関する知識と技能を習得できる本学独自のプログラムを設けています。一人ひとりの技術レベルに対応する指導力や即戦力、さらに学校・スポーツ団体・諸施設などと緊密に連携が図れるリーダーシップも身に付けます。



健康学科

スポーツを通じて、心身ともに健やかで豊かな福祉社会を実現する。

健康学科では、「ヘルスプロモーション」と「ソーシャルサポート」に関する学修領域を設け、健康・スポーツ医科学の実践的な技術や理論を兼ね備え、教育・福祉分野で活躍できる人材の育成を目指しています。本学独自のプログラムにより、スポーツで生じる外傷や障害への対応も含め、心身の健康増進・維持や体力向上、さらには安全の確保に必要な実践的技術も学んでいきます。



スポーツ文化学部

国際相互理解や国際貢献など、スポーツを通じて他者との共生を推進する。

武道教育学科

日本固有の身体運動文化、「武道」「伝統芸能」の知識や技術を身に付ける。

伝統に基づいて体系化された「日本固有の身体運動文化」である武道（柔道、剣道、相撲、空手、合気道、薙刀、弓道、少林寺拳法）、それと関連する日本舞踊や古来より民俗行事として伝承されてきた民俗舞踊、和太鼓などの伝統芸能について、日本の「道」の精神とともに実践的な技術や理論を理解し、国の内外を問わずに指導できる能力を養います。



スポーツ国際学科

日本の精神文化に立脚し、スポーツによる開発援助や国際交流を推進する。

国際社会の中で日本の精神文化に立脚したスポーツ指導を実践し、スポーツを通じた国際協力・国際交流・開発援助を促進するための知識や技術を養います。また、大学の機能として「教育」「研究」に加えて「社会貢献」が重要視されるといった時代の要請に応えるべく、国の内外を問わずにスポーツを通じて社会貢献が図れる人格やスキルを獲得します。



スポーツマネジメント学部

スポーツの感動を創り出す自分になりたい。私たちは楽しいこと、つらいこと、苦しいこと、うれしいこと、みんなスポーツで学ぶ。

スポーツマネジメント学科

マネジメントをエンジンにスポーツを推進する。

スポーツマネジメントの時代が到来し、今、スポーツ界ではスポーツマネジメント人材が求められています。スポーツの持つ価値を生かし、世界中で展開されている様々なスポーツ事業にビジネスチャンスを見つけ出してスポーツを推進することができる人材が必要とされています。スポーツマネジメント学科では、スポーツ界で即戦力となり得るための、スポーツをマネジメントする知識と技術を身に付けることができます。



スポーツライフマネジメント学科

人と人をつなぐ学びがここにはある。

高齢化が進む日本では、国民の健康維持・増進は国のあり方を左右する重要課題。さらに職場以外のコミュニティ形成は、生涯にわたる幸福の実現に欠かせません。こうした課題の解決を目指し、スポーツライフマネジメント学科では、集い共に楽しむスポーツの公共性を活かし、市民一人ひとりのライフステージに応じた運動を、自ら模範を示して指導できる人材を育成します。



児童スポーツ教育学部

乳幼児期・児童期の教育、運動習慣など、子どもの健康と安心、豊かな社会づくりに貢献する。

児童スポーツ教育学科

スポーツを通して子どもの心と体をはぐくみ、健やかな成長に貢献する。

児童スポーツ教育学科では、「児童スポーツ教育」と「幼児教育保育」の2コースを開講しています。乳幼児・児童期の運動について、体力・運動能力の向上だけでなく、意欲的な心やコミュニケーション能力の育成、運動制御機能の発達も重視した、日体大独自のプログラムを設けています。次代を担う子どもたちの「健康で豊かな社会」を創造できる指導者を目指します。



保健医療学部

体育スポーツの専門性を備えた医療の担い手となり、柔道整復・救急救命分野に貢献する。

整復医療学科

教養と実践力を備え、幅広く活躍できる柔道整復師を育成する。

整復医療学科は、人々の健康の維持・増進、ケガの治療・予防等に貢献するため、スポーツを多面的に理解し、スポーツを医療の立場から支える柔道整復術の実践者として活躍できる医療人を育成します。さらに、日体大ならではの環境を活かし、選手やスポーツに関わるスタッフと、そして国際的に活躍できるコミュニケーション能力を養成します。



救急医療学科

切迫した危機的状況下で、人命に関わる重責を担える総合的な実践力を持った救急救命士を育成する。

救急医療、蘇生医療、災害医療を3つの柱として、それぞれ国際的な立場で実践活動・指導できる救急救命士を育成します。医療人として求められる高い倫理観と崇高な精神を徹底的に教育し、日本の各分野で活躍中の多数の著名人からの特別講義や国家試験対策・就職対策が充実し、専門家からの質の高い講義と実践的な実習を行っています。



日体大では、「スポーツ」を軸とした幅広い学びの領域と、そのための最先端の施設を用意しています。それぞれの夢や希望、目的に合わせ、一人ひとりの向上心に応える学びの場を見つけ出してください。

キャンパス	学部	学科 / 領域・コース	学びのポイント	在籍者数 (2021年5月現在)	取得可能な免許・資格	進路データ		
東京・世田谷キャンパス	体育学部	体育学科	スポーツ教育領域	主に学校教育およびスポーツ団体・諸施設での指導者に必要な実践的能力や知識を学ぶ。	3,145名 男子:2,090名 女子:1,055名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者) ■ 水泳コーチ3 (受験資格) ■ アスレティックトレーナー(受験資格) *競技スポーツ領域のみ ■ ハンドボールコーチ1 (受験資格) ■ JPSU スポーツトレーナー資格(受験資格) *競技スポーツ領域のみ ■ 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) 	非就職・未決定 11.1% 進学・留学 4.3% 公務員 7.3% 教員 20.6% 企業 56.7%	
			競技スポーツ領域	競技者やコーチングスタッフ、トレーナーを目指し、スポーツ科学・医科学、コンディショニング管理などを学ぶ。				
		健康学科	ヘルスプロモーション領域	主に養護教諭や衛生管理者になるための健康管理・疾病予防に関する実践力と知識を学ぶ。	765名 男子: 375名 女子: 390名		<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 養護教諭一種免許状 *ヘルスプロモーション領域のみ ■ 社会福祉士(受験資格) *ソーシャルサポート領域のみ ■ 第一種衛生管理者 ■ 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) 	非就職・未決定 14.3% 進学・留学 1.6% 公務員 6.4% 教員 33.3% 企業 44.4%
			ソーシャルサポート領域	社会福祉支援に携わる上で必要な身体的・心理的アプローチの基礎となる理論や技術を学ぶ。				
東京世田谷キャンパス	スポーツ文化学部	武道教育学科	武道や日本舞踊、民族舞踊や和太鼓などの伝統芸能における実践的な技術や理論を中心に学ぶ。	393名 男子: 297名 女子: 96名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 	非就職・未決定 7.5% 進学・留学 3.2% 公務員 20.4% 教員 24.8% 企業 44.1%		
		スポーツ国際学科	スポーツを通して国際協力・交流、開発援助を促進するための知識や技術を学ぶ。	406名 男子: 270名 女子: 136名				非就職・未決定 18.3% 進学・留学 9.7% 公務員 5.4% 教員 20.4% 企業 46.2%
横浜健志台キャンパス	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	スポーツイベントやスポーツ施設経営などの事業にビジネスチャンスを見つけ出し、スポーツ奨励・促進のための活動を支援する能力を学ぶ。	601名 男子: 415名 女子: 186名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 初級・中級障がい者スポーツ指導員 *スポーツライフマネジメント学科のみ ■ 社会教育主事(任用) *スポーツライフマネジメント学科のみ ■ スポーツ・レクリエーション指導員 *スポーツライフマネジメント学科のみ ■ 公認アシスタントマネジャー(受験資格) ■ 体育施設管理士(受験資格) ■ 体育施設運営士(受験資格) 	目指す将来のイメージ ■ スポーツマネジメント学科 スポーツ関連企業/プロスポーツ関係/スポーツ団体/スポーツ行政/各種スポーツクラブ/中学校・高等学校教諭(保健体育)ほか ■ スポーツライフマネジメント学科 地域スポーツ指導者/中学校・高等学校教諭(保健体育)/社会教育主事/各種公務員/各種スポーツ団体/一般企業ほか		
		スポーツライフマネジメント学科	すべての人々に心身の健康な生活の提供と健康寿命の延伸を図ることを目的に、ライフステージに応じてスポーツや運動を処方し、自ら示範して指導する能力を学ぶ。	450名 男子: 272名 女子: 178名				
東京世田谷キャンパス	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育学科	児童スポーツ教育コース	主に小学校・幼稚園教諭に必要な児童期の体力づくりや、スポーツ指導のための知識と実践力を学ぶ。	599名 男子: 293名 女子: 306名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校教諭一種免許状 ■ 幼稚園教諭一種免許状 ■ ジュニアスポーツ指導員 ■ 初級障がい者スポーツ指導員 	非就職・未決定 6.5% 進学・留学 1.3% 公務員 5.9% 教員 35.3%*1 企業 51.0%	
			幼児教育保育コース	幼稚園教諭や保育士を目指し、児童の発育・発達を総合的に支援できる知識や実践力を学ぶ。	197名 男子: 26名 女子: 171名			<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園教諭一種免許状 ■ 保育士 ■ 初級障がい者スポーツ指導員 ■ 認定ベビーシッター
横浜健志台キャンパス	保健医療学部	整復医療学科	国家資格「柔道整復師」取得を目指し、スポーツと健康増進に貢献するための専門知識と臨床技術を学ぶ。	387名 男子: 235名 女子: 152名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 柔道整復師(受験資格) ■ アスレティックトレーナー(受験資格) *人数制限あり ■ 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) 	非就職・未決定 21.2% 進学・留学 9.4% 公務員 3.5% 医療機関 21.1%*2 企業 44.7%		
		救急医療学科	救急救命士国家試験合格に主眼を置き、救急医療分野の従事者に必要な専門知識や実践力を学ぶ。	337名 男子: 268名 女子: 69名			<ul style="list-style-type: none"> ■ 救急救命士(受験資格) ■ 第一種衛生管理者 ■ 防災士(受験資格) 	非就職・未決定 6.8% 進学・留学 6.8% その他 16.9% 公務員 28.8%*3 医療機関 32.2% 企業 8.5%

第58回 体育研究 発表実演会

コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度は中止いたしました。

「維新～新たな始まり～」をテーマに、11月17日(水)横浜アリーナにて2年ぶりの開催となりました。

コロナ禍での開催となり、観客は約5,000人とし、指定席エリアを設けるなど、万全の体制での開催となりました。

また、当日はYouTube、InstagramでのLIVE配信を実施し、約2,000人の視聴がありました。

プログラム

1. 伝統芸能(和太鼓)
2. チアリーダー
3. チンロン&セバタクロ
4. バレーボール
5. オリンピック・パラリンピック報告会
6. 朝鮮大学校
7. 新体操
8. 体操競技
9. 体操
10. トランポリン
11. 集団行動
12. ダンス
13. エッサッサ

YouTube
アーカイブは
こちらから



チアリーダー



バレーボール



集団行動



チンロン&セバタクロ



ダンス



トランポリン



伝統芸能(和太鼓)



体操競技



新体操



エッサッサ



朝鮮大学校



体操



奨励金授与

第58回 体育研究発表実演会の開演に先立ち、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のメダリストに対し、本会表彰規程・スポーツ奨励賞細則に基づき、対象者11名のうち9名に会長・塩谷より奨励金を授与した。

オリンピック・パラリンピック報告会

日体大関係者の代表選出 69名(オリ59名・パラ10名)のうち、38名(オリ33名・パラ5名)が報告会に参加した。

選手へのインタビューやサイン色紙の抽選会等もあり盛会であった。

オリンピック

河田 悠希	久保田 愛夏	中村 妃智	畠山 紗英	阿部 詩
阿部 一二三	杉本 早裕吏	鈴木 歩佳	福島 丈貴	三上 紗也可
南出 大伸	坂井 丞	武良 竜也	山崎 アンナ	村上 茉愛
内村 航平	高橋 藍	佐藤 希望	徳南 堅太	入江 聖奈
清水 麻有	文田 健一郎	屋比久 翔平	足立 聖弥	
コップ 晴紀	イラリオ	志賀 光明	吉田 拓馬	高田 充
荒井 陸				
荒木 健太	新澤 由貴	橋田 舞子	工藤 恭子	

パラリンピック

高裕 義伸	吉越 奏詞	梶原 大暉
今井 大湧	辻 沙絵	



同窓会誌発行協力金について—御礼

「日體人」第9号にてお願いいたしました協力金につきまして、これまでに約2,000名の方々からご支援をいただきました。ここに皆様方のご協力に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込め、お名前を記させていただきます。

北海道ブロック／東北ブロック

小池春雄、渡邊勇一、藤田一郎、井戸英樹、篠原静雄、鈴木則行、小谷麗子、井戸輝子、前東昭、伊藤シズ子、多田順一、前多正彦、松本紘一、田村勝子、井淵俊昭、菅野良則、菊池ヤエ子、久保田博三、今野靖政、鍛冶澤守、鈴木一央、白川部壽夫、紺屋正雄、佐藤忠吉、大石敏夫、中谷弘男、鎌市勝秀、竹田悦郎、奈良俊則、棧邦雄、仲野英司、福土正敏、金田隆一、太田政義、外館静代、榎本真智子、丹野寛、藤田進、佐藤博明、遠山裕生、佐藤佐知子、金曾則雄、木村光江、中木克明、佐々木雅恵、吉田敦一、伊藤光男、高木典男、深澤健、高田亨司、柳等、徳増秀隆、土居昌彦、野田克弘、渡邊宏禎、久光宏明、久朗津義晃、松井錦次、藤田浩道、三田英郎、福原成人、牧野克彦、近藤一真、關川輝之、民安佳克、寺島賀寿生、齋藤嘉英、遠藤大地、中西広輔、上田育恵、久光胡紅、秋野ゆい、松田弘、阿保日出一、山田弘、渋谷隆伺、小枝兼悦、成田昭紀、岩見幸夫、須藤宏、春藤英徳、苦米地克彦、月館智恵子、奥静子、下佐裕、赤石真一、三上史世、川井忠彦、八戸秀男、宮地善道、笹木正信、齋藤和子、工藤敏光、西谷義廣、中田曜子、田代美紀子、廣谷滋、工藤紳吾、山谷由美子、野上新二、柳原瑞樹、高谷亮徳、大柳孝紀、乙部美咲、赤川堅蔵、毛江田久雄、伊藤町子、嘉藤晋作、山崎澄子、加藤隆、升屋文夫、莊司昭夫、餅田茂、阿部由貴子、芦田良子、渡部俊夫、栗田崇、大野隆夫、塚田泰志、木村正、高田和男、成田道子、鎌田耕平、中野直、飯泉恵美子、鎌田義人、小笠原真理子、二田隆、金子良雄、松岡伸幸、中川忠博、大山裕一郎、半田忠、松田信、牧野隆一、高橋範夫、黒田清志、安藤純、村山一郎、柴田衛、鬼川美佐子、上杉英文、関村幸子、山本暢三、阿部幸輔、佐藤洋、三浦英人、佐藤聖子、小松満、藤本剛、佐々木崇仁、早坂宏明、成田郁子、荻田圭、熊谷洋、畠山静香、伊藤あゆみ、鈴木清次郎、尾形潤、津志田静徳、高橋徳江、畠山聡、佐藤愛海、藤澤琴日、吉田柚夏、船山久子、結城武則、中村隆夫、岸野載子、宇野峰子、大沼美智子、里義信、松田明美、富田俊美、小川節子、莊司敏博、鈴木淳一、貝田裕昭、酒井宏幸、齋藤範夫、齋藤秀樹、土門敦、尾形綾子、岡崎雪華、河合享、齋藤源一郎、茂出木純也、佐藤恵恵、小川諒也、中津川澄男、高橋志帆、石川梓央利、岩山なつき、飯塚啓伍、宗形圭、角田誠、志賀宗徳、小野徳子、岡部文彦、鈴木洋一、佐々木信広、星はるか、半澤庄多、関内瑛、高山恭治

関東ブロック

藤崎泰助、二田兼男、渡辺哲也、永井薫、河田依子、鈴木定治、坂本静、大友稔昭、小倉培夫、小島益男、仲澤進、平塚昌利、須藤正巳、百々塚恭男、野口洋治、羽成邦男、富澤秀章、渡邊良江、大山佳子、武田弘、飯嶋万喜、富田功、菊池哲也、本橋香織、幾永昌英、川松貴弘、宮田大輔、長坂亮、石井宏人、小堤恵子、高野文利、山本忠芳、小室大地、大久保瞳、黒川和岐、石松稿紀、嶋田榛夏、相良摩州、佐々木杏子、大岩拓実、永島武、岸明男、栗原恒夫、上环聡、渡邊明美、人見将司、長尾耕輔、大阿久誠矢、岡村綾香、鎌田葉月、明石六郎、青木幸雄、小林進、小林靖子、小林孝昭、植原昌子、田中悦子、高橋義明、荒川シズ子、湯浅聡子、渡辺捷紀、鳥羽完司、角田正三、廣田誠、小野宏一、岡田恒雄、須賀弘二、福田明美、前田シン子、久保田忠夫、青木仁嗣、多胡英子、井上哲男、柳岡政一、永井正、小池務、江熊美地、横山ひとみ、小山信一、小林宏、細潤晋一、川島泉、石井千代美、萩原中、林和也、篠原かすみ、有坂耕児、清水武夫、中澤昌宏、安齊義宏、白石雅好、渡辺紀子、大野哲兒、大野浩江、土屋知子、篠宮剛、青山三智子、坂爪亮介、桑原成美、高橋脩輔、先場瞬、石井弥沙、小林泰正、星野百合子、坂田祐三、木村哲男、田中稔、永嶋龍次、柴田勝夫、町田昶、渡邊隆洋、石田毅、梅村寿一、竹内功、種村輝男、柿原順子、伊藤延世、松本軍征、林勝彦、城戸啓一郎、明石正和、

中田次夫、台正知、荒川哲男、小橋川和子、磯部富美子、石橋正博、松本文夫、三上和男、沖野英逸、山田健一、新島隆光、中川浩子、菅間茂久、種山保司、土田正行、小暮三恵、及川哲、原田康弘、青木絹子、成塚誠司、中山圭子、菅原康、杉浦正和、高野庸夫、庄司一也、木幡博久、山角厚志、岩川泰己、深谷精一、島田文晴、井上卓、石間戸清、高橋良典、伊藤秀樹、仲谷龍太郎、武藤智、才川力也、石津光保、大岩辰裕、中田典子、相原敏江、中根一幸、小島輝夫、酒井弘子、小山洋行、川嶋仁、武内弘行、朝倉工、小野木史絵、齋藤さつき、関根貴博、山田ふみ、福島沙織、服部訓彦、宮本一輝、神林健博、原武夫、齊藤登美子、稲垣貴子、平沼裕美、池田かすみ、飯嶋厚、平賀竜斗、寺澤晶尊、桑山知香、丸山舞、吉田隆哉、末吉龍太、中西健太郎、小山浩司、佐久間春枝、荻原迪彦、松盛寿子、出口節、積田麗子、仁谷秀夫、鈴木義高、佐久間剛、穴戸進、瀧澤康二、大山象二郎、野津盛、松本義博、関口一真、加藤栄一、向井廣志、林昌子、井上暁、戸田正明、軽米満世、軽米良臣、高橋一博、石井一彦、笈川徹、藤崎満、安達佳代子、豊田武文、川中俊邦、山岸秀規、久保田雅人、小路正和、木下江利子、小野寺修平、山口深雪、中西浩二、岡部光人、北矢宗志、高橋寿恵、鈴木晴奈、正木洋成、小菅由香、馬場真、山岡健太郎、西田純也、山下来夢、小菅由波、金澤祐治、伊奈優花、永田生江、岩崎三樹、金当国臣、岡田信之、西森源太、馬場勇、庄司高士、小尾宏子、小林峰子、三宅啓子、中垣範保、小川清志、高山士、竹内定雄、朝岡晃一、島田由明、饒村清司、石川光男、磯部賢次、小嶋笙子、浦田輝子、坂井計、浅井大忠、花野井春絵、松野靖臣、塩崎親宏、榎本和男、河西瑞枝、舩外兵衛、高嶋章、野中庸且、奥田雄一、上山良昭、山口久夫、今井梢、兵郷博、坂見敏夫、佐尾山秀治、福田芳枝、山口光恵、池野三義、中村雅人、井田洋、吉村辰明、榎本清、村越みどり、桜庭清徳、江口正信、藤江和雄、橋本昇、赤堀実、小早川ゆり、村上みな子、高梨昭、内田勲、清水正昭、蘭田有司、鈴木敬子、角杉美恵子、村中宏行、高松清、高田幸一、渡辺千恵子、日野喜美子、柴岡三千夫、深沢守之、河野隆一、大西修、大越洋一、竹原勝博、武藤千賀子、三柴博資、安藤達二、菅原淳一、池田伸二、瀬戸徳美、望月幹子、星幸男、外山僚一、石場隆雄、鈴木昭生、高山和徳、太田久人、大谷州央、吉澤猛、町田信行、池谷俊彦、永島昇太郎、木村博之、益子久、清水健司、三嶋孝彰、立岩京子、幡野明弘、安藤こずえ、川瀬康二、武岡イネス恵美子、田中隆文、下井浩司、早尾浩聡、猪俣由加、武田龍太郎、水島貴裕、佐々木敏夫、瀧澤瑞記、中井康夫、植月文隆、廣瀬元、土屋幹雄、篠原安芸、脇若綾、大神田康博、中原知美、中込未奈、中村岳人、正田秀志、川上辰五郎、山崎愛子、角杉直美、近藤広和、河合幸恵、谷釜尋徳、丹羽優介、藤倉謙次、高田秀一、原田正之、三戸瑛美子、古茶翔、祝弘樹、首藤文子、平野光家、浅沼航平、高橋千郷、山内健太郎、佐々木魁士、上田真穂、山寺海里、武藤拓己、平井将太郎、斎藤茉莉架、奈良勇太、若林唯、角夕記、難波茉莉花、須山香菜、日原冬華、佐藤亮佑、尾又水穂、新館豊範、熊野忠敬、工藤友記子、酒井治、鎌田章、伊藤三重子、川島久美子、岩波和雄、市川博、真如紀子、佐藤鐵太郎、岩下聡、松田治廣、千葉吟子、大澤宏子、明石一雄、長谷川陽一、高山建治朗、山崎靖雄、上平雅史、小滝紘一、伊澤俊彦、月岡靖夫、鈴木洋一、中島晴規、山崎博明、下内義光、今野睦夫、越水清、湖脇令子、中根健司、金子登志子、鈴木洋祐、久郷信義、川端重義、吉井和夫、江藤夜、多胡恒治、榎原義弘、榎原泰子、栢沼行雄、高橋和志、松浪健四郎、森田淳悟、堀川博美、塚越富夫、金井茂夫、草柳孝、小嶋啓道、藤原秀樹、清田寛、大平和幸、岡本幸子、宮崎弘子、大沢興助、鈴木満、真崎晶一、塩谷和雄、荒木祐治、長村成子、里見美彦、塩谷淑子、米山和久、中村ふじ、渡辺晃、座間幸男、吉田美苗、荒木達雄、今野正明、邑栗栄二、佐藤喜和子、白井一正、杉崎勝之、青島純夫、小泉政貴、石井明美、菊地武良、具志堅幸司、巴伸一、高橋浩、下山秀子、犬飼豊、犬飼了子、土岐真弓、高宮悟、福永いづみ、高田佳朗、石原匡、又村秀、田口孝男、

日体大卒業生健康寿命延伸プロジェクトスタート!

日体大が世界の健康寿命延伸をリードする～日本の日体大から 世界のNittaidaiへ～

お申し込みはコチラ



お申し込み

QRコード読み込み後、必要事項を入力してください。年齢制限はありません。必要に応じて郵送でのお申し込みも受け付けます。お問い合わせにご連絡ください。

お問い合わせ

longlife@nittai.ac.jp (体育研究所プロジェクト研究3) までお気軽にご連絡ください。

プロジェクトのスタートに際して 体育学部 教授 岡本 孝信

この度、日本体育大学卒業生が社会で活躍し、元気で長生きできることを目指して日体大卒業生健康寿命延伸プロジェクトを開始することと致しました。

わが国は世界有数の長寿国です。しかし、健康で自立した生活が送れる「健康寿命」と「平均寿命」の間には10歳程度の差があり、元気で長生きするためには、いかにして「健康寿命」を延伸させるかが重要です。

このプロジェクトは日体大卒業生が元気で長生きするための科学的データを蓄積し、そのエビデンスを基に健康寿命延伸に対する取り組みを実践することを目的としています。

また、本プロジェクトの成果はNittai Healthy Longevity Study (日体大健康長寿研究)として国際的な学術専門誌に公表してまいります。本プロジェクトを通して、Nittaidaiの国際的な認知度向上に努めます。

多くの卒業生の皆さまの健康長寿を支える本プロジェクトに是非ともご参加いただけますよう心よりお待ちしております。



2050

健康増進プログラム「日体モデル」が世界のガイドラインに!

2030

- ・「日体モデル*」の構築
- ・卒業生が中心となった体力測定の全国展開

*過去および現在の体力データや遺伝子情報などを基に作成した健康寿命延伸のための生活活動や運動習慣の推奨モデル



本プロジェクトへ参加すると...

- 1 在学時の体力通知表を贈呈**
日体大入学時に行った体力データを基に、現在の生活習慣の改善に活用。
- 2 健康長寿に向けた最新の情報を配信**
定期的(年4回)に健康長寿に関する最新の情報を配信(送付)。
- 3 遺伝子検査で健康をバックアップ**
遺伝子検査で生活習慣病予防をサポート。遺伝子情報はあくまでも参考であり、健康長寿を決定するものではありません(希望者のみ)。



2025

- ・健康増進リーダーの養成
- ・全国各地で体力測定を開始

2022

日体健康長寿元年

- ・現在の生活習慣などの質問紙調査
- ・追跡研究の開始



NITTAI FAMILY

・・・ 広がり続ける日體精神 ・・・



日本体育大学荏原高等学校

求めて学び 耐えて鍛え 学びて之を活かす



Information

設立	1904年(明治37年)	所在地	〒146-8588 東京都大田区池上 8-26-1
URL	https://nittai-ebara.jp/	TEL	03-3759-3291
入学定員	普通科：320名(アカデミックコース40名・アドバンスコース(旧進学コース)200名・スポーツコース(旧体育コース)80名)		



日本体育大学柏高等学校

健康と信用は最高の宝



Information

設立	1960年(昭和35年)	所在地	〒277-0008 千葉県柏市戸張 944
URL	https://k-nittai.ed.jp/	TEL	04-7167-1301
入学定員	全日制普通科：360名		



日本体育大学桜華中学校



日本体育大学桜華高等学校

健康・努力・敬愛



Information

設立	中学校：1994年(平成6年) 高等学校：1958年(昭和33年)		
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町 2-5-1		
URL	http://www.ohka.ed.jp/	TEL	042-391-4133
入学定員	中学校：40名 高等学校：普通科240名(アドバンスコース・総合進学コース・スポーツコース)		



浜松日体中学校



浜松日体高等学校

積志力行・清節篤行



Information

設立	中学校：2002年(平成14年) 高等学校：1962年(昭和37年)		
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山三丁目 30-1		
URL	https://www.h-nittai.ed.jp/	TEL	053-434-0632
入学定員	中学校：90名(男女共学3クラス) 高等学校：320名(選抜コース(I類・II類)約160名・文理コース約70名・一貫コース(内部進学者)約90名)		



日本体育大学附属高等支援学校

體育富強之基



Information

設立	2017年(平成29年)	所在地	〒093-0045 北海道網走市大曲 1-6-1
URL	http://s-nittai.ed.jp/	TEL	0152-67-9141
入学定員	全日制普通科：40名		



日体幼稚園

健康第一主義



Information

設立	1955年(昭和30年)	所在地	〒158-0081 東京都世田谷区深沢 8-4-1
URL	https://nittai-kindergarten.ed.jp/	TEL	03-3701-4450
入学定員	240名(3歳児：80名・4歳児：80名・5歳児：80名)		



日本体育大学医療専門学校

生命の尊厳を自覚し、人間として謙虚な心と
仁愛の心をもった有為な人材を多く輩出する



Information

設立	1973年(昭和48年)	所在地	〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-2-7
URL	https://www.nittai-iryo.ac.jp/	TEL	03-5717-6161
入学定員	整復健康学科：45名・口腔健康学科：40名(男女共学3年制)		